



組合員と地域のみなさん



黒褐色（刈り頃）のそば畑。秋の収穫大感謝祭は中止となりましたが、12月の年越しそばと2月の寒晒しそばは実施予定です



道の駅 東山道伊王野
ふるさと物産センター組合

「道の駅のそばは評判が良い。地元で生産したそばを地元で振る舞えるのは嬉しい」「さらに良質のそばを安定的に生産し、オリジナルブランドのそば粉を作り、多くの人に伊王野のそばを届けたい」と話す、組合常務理事の沼井和志さん（沼野井）と組合員の熊田廣文さん（上町、表紙）。美しい里山で育ったそばが、地域おこしの一翼を担っています。

新そばの季節。道の駅東山道伊王野は県内でも人気のそば処です。10月に導入したそば刈コンバインでの初めての収穫。組合では、そば生産者から受託した約30haを刈り取ります。収穫された玄そばはJAなすのに出荷され、その後、組合で約12tを買い入れ、お食事処「水車館」で提供されます。新そばは、11月中旬から提供されるそうです。

短歌

茶白岳の頂上の方から紅葉す
一日毎に山下る秋
形見なる母の着物を出し見れば
今だ着癖の残りていたり

中島 君江
守屋はるみ

遊行柳投句箱

ご由緒の柳の下に汗ひきぬ
そよぐ田に群れて舞ひをり秋あかね

鈴木美枝子
高橋 湊子

俳句

秋の声聞く阿羅漢の耳大き
楽しさは余生にありと残る虫
露草の草に沈みて藍深し
十三夜温もり遠し父の膝
初紅葉疎遠の友の便りあり
十三夜火の見しずかに村まもる
マグマ棲む那須のお山の草紅葉
降り立つや紅葉の山のせまり来る
血洗ひ湯に切り換えて後の月
寝返れば布団の重き夜寒かな
裏通り犬と子の影十三夜
十三夜厨房にある旬のもの
道のべに秋の色草日のあそび
天然の茸味よし香りよし
土橋迄橋を重ねて野菊咲く
老境の自儘な暮し野紺菊
一樹にて一村香る金木犀

鮎瀬 汀
松浦 秀文
中島 慶子
長島 啓子
七海 英音
仲川 光風
平岡 丈子
齋藤 照代
角田富美子
津田イツ子
岡部 慶子
小森 静江
大島 昇
白田 静江
郷 華
田部井清子
田中 思楼

那須文芸

「広報那須」がパソコン・スマートフォンで読めます

広報那須が下記の電子書籍ポータルサイトに掲載されています。

トチギーブックス
URL: <http://www.tochigi-ebooks.jp>



マイ広報紙
URL: <https://mykoho.jp/>



那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 11月18日（水）
■俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901